事業番号

2023 - 文科 - 22 - 0236

令和5年度行政事業レビューシート		(文部科学省)					
事業名	リサーチ・アドミニストレーター等のマネジメント人材に係る質保証制度の実施	担当部局	科学技術・学術政策局	作成責任者			
事業開始年度	令和3年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	人材政策課		
事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	人材政策課	人材政策課長 生田知子			
会計区分	一般会計						
根拠法令(具体的な条項も記載)		関係する計画、通知等	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい資本主義のグランドデザイン及び実行計画～人・技術・スタートアップへの投資の実現～フォローアップ(令和4年6月閣議決定) ・統合イノベーション戦略2022(令和4年6月閣議決定) ・第6期科学技術・イノベーション基本計画(令和3年3月閣議決定) 				
政策	8 知のフロンティアを開拓し価値創造の源泉となる研究力の強化	主要経費	科学技術振興費				
施策	8-1 科学技術・イノベーションを担う人材力の強化						
政策体系・評価書URL	https://www.mext.go.jp/content/20221012-mxt_kanseisk01-000024706-03.pdf						
事業の目的(5行程度以内)	URA(リサーチ・アドミニストレーター)等のマネジメント人材の育成と配置の促進により、大学等における更なる教育研究推進体制の充実強化を実現する。						
現状・課題(5行程度以内)	我が国の大学等を取り巻く環境が激しく変化し、自ら教育研究環境の革新を進めることが求められている状況において、大学経営から研究戦略、研究推進支援に至るまで研究環境の充実に関するリサーチ・アドミニストレーター(URA)には、中核的役割が期待されているところであるが、URAについては質・量ともに十分ではないとの認識があり(※)、URA等のマネジメント人材の育成と配置の促進が求められている。 (※)URAの充足状況に関する各機関の認識 量的な充足状況については89%、質的な充足状況については81%の機関が「やや不足している」もしくは「大幅に不足している」と回答 (出典)平成27年度文部科学省委託調査「リサーチ・アドミニストレーター業務の自立的運営に向けた調査・分析」(受託機関:(株)三菱総合研究所)						
事業概要(5行程度以内)	URA等のマネジメント人材に係る質保証制度の実施に際し、URA等のマネジメント人材に必要とされる知識の体系的な専門研修受講の機会提供や、実務能力を踏まえた客観的な質保証(認定)を行うため、それらを行う質保証機関の運営を支援する。						
事業概要URL	https://www.rman.jp/ura/quality-assurance-system.html						
実施方法	補助						
補助率等	補助対象:大学、独立行政法人、国立研究開発法人、一般社団・財団法人等 補助上限額:50百万円/年						
予算額・執行額(単位:百万円)(インプット)		令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度要求	
	予算の状況	当初予算(A)	-	54	45	45	
		補正予算(B)	-	-	-	-	
		前年度から繰越し(C)	-	-	-	-	-
		翌年度へ繰越し(D)	-	-	-	-	-
	予備費等(E)	-	-	-	-	-	
計(F) =(A)+(B)+(C)+(D)+(E)	-	54	45	45	-		
執行額(G)	-	44	44				
執行率(%) =(G)/(F)	-	81%	98%				
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%) =(G)/[(A)+(B)]	-	81%	98%				
令和5・6年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算項・目		令和5年度当初予算	令和6年度要求	主な増減理由(・要望額・予備費)		
	(項)	研究振興費			JST事業へ移管するため本事業の概算要求額は0としている。		
	(目)	科学技術人材育成費補助金	41				
	(目)	委員等旅費	2				
	(目)	諸謝金	1.0				
	(目)	職員旅費	0.6				
	(目)	庁費	0.4				
(目)	その他						
	計(A)	45					

活動内容① (アクティビティ)		URA等のマネジメント人材に係る質保証制度の実施に際し、URA等のマネジメント人材に必要とされる知識の体系的な専門研修受講の機会提供や、実務能力を踏まえた客観的な質保証(認定)を行うため、それらを行う質保証機関の運営を支援する。								
↓										
活動目標及び活動実績 ① (アウトプット)		活動目標	活動指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	5年度 活動見込	6年度 活動見込
		本事業における研修を安定的に運営する。	URA等のマネジメント人材に係る質保証制度における研修の受講者数	活動実績	人	-	18	559	-	-
				当初見込み	人	-	-	-	559	-
↓		成果目標①-1の 設定理由 (アウトプット からのつながり)								
		URA等のマネジメント人材に係る質保証制度における研修の受講者数の増加に伴い、研修を修了してURA等のマネジメント人材に必要とされる知識を体系的に習得した人材が増加することを目指しており、研修の修了者が安定的に輩出されているかを踏まえ、必要に応じ事業の改善方策の検討を行うことを想定している。 ※令和3年度の実績が著しく低い値になっているのは当該年度が試行段階であり、令和4年度から本格実施されたためである。								
成果目標及び成果実績 ①-1 (短期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標年度 4年度	
		本事業において研修を受講しURA等のマネジメント人材に必要とされる知識を体系的に習得した人材が増加する。	URA等のマネジメント人材に係る質保証制度における研修の修了者数 ※目標値:前年度実績(試行段階であった令和3年度の値は除く)	成果実績	人	-	18	441	-	
				目標値	人	-	-	-	-	
				達成度	%	-	-	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		本事業の採択機関による年次報告等								
↓		成果目標①-2の 設定理由 (短期アウトカム からのつながり)								
		本事業では、本事業においてURA等のマネジメント人材に必要とされる知識を体系的に習得した人材が増加することにより、URA等のマネジメント人材の質・量が向上し、各機関におけるURA等のマネジメント人材の採用・登用が促進されることを目指しており、URA等のマネジメント人材の配置状況の変化を踏まえ、必要に応じ本事業における制度改善に向けた検討を行うことを想定している。								
成果目標及び成果実績 ①-3 (長期アウトカム)		成果目標	定量的な成果指標		単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	目標最終年度 7年度	
		大学等におけるリサーチ・アドミニストレーター等の配置人数が毎年度増加する。	大学等におけるリサーチ・アドミニストレーター等の配置人数 ※目標値:前年度実績	成果実績	人	1,512	1,627	-	-	
				目標値	人	1,507	1,512	1,627	-	
				達成度	%	100.3	107.6	-	-	
成果実績及び目標値の 根拠として用いた 統計・データ名(出典) /定性的なアウトカムに 関する成果実績		文部科学省「大学等における産学連携等実施状況調査」								
アウトカム設定について の説明		アクティビティ①について定性的なアウトカムを設定している理由								
		アクティビティ①についてアウトカムが複数設定できない理由								
事業に関連する KPIが定められて いる閣議決定等	名称									
	URL									
	該当箇所									

文部科学省
43.5百万円

我が国の科学技術を担う優れた人材を育成し、その活躍を促進するため、理数分野に関して意欲ある学生の能力や研究意欲をさらに高めるとともに、博士課程学生等のキャリアパスを多様化させる。また、高等な専門的能力を有する技術者の認定制度を運用する。

A.科学技術人材育成費補助金
(リサーチ・アドミニストレーター等の
マネジメント人材に係る質保証制度の実
施)

43.5百万円
一般社団法人リサーチ・アドミニストレー
ション協議会
(全1件)

質保証制度の実施に際し、URA等のマネジメント人材に必要とされる知識の体系的な専門研修受講の機会提供や、実務能力を踏まえた客観的な質保証(認定)を行うため、それらを行う質保証機関の運営を支援する。

資金の流れ
(資金の受け取り先が
何を行っているかにつ
いて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途 (「資金の流れ」において ブロックごとに最大の金 額が支出されている者につ いて記載する。費目と 使途の双方で実情が分 かるように記載)	A.			B.		
	費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
事業実施費	事業を実施する上で必要となる旅費、消耗品費等	32.1				
人件費	補助者の人件費	11.4				
計		43.5	計			
費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載						チェック

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	一般社団法人リサーチ・アドミニストレーション協議会	7220005008539	質保証制度の実施に際し、URA等のマネジメント人材に必要とされる知識の体系的な専門研修受講の機会提供や、実務能力を踏まえた客観的な質保証(認定)を行う。	43.5	補助金等交付	-	-	
支出先上位10者リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載							チェック	